

(みんな元気になる) 福祉避難所整備事業 企画提案書

令和元年 月 日

(ふるさと納税を活用して) 福祉避難所開設・運営マニュアルや訓練、重要資機材を下記により整備する。

記

1 事業の名称

(みんな元気になる) 福祉避難所整備事業

2 事業の目的及び概要

(1) 目的

- ①福祉避難所を開設・運営するために必要なマニュアル、重要資機材等を整備し、訓練することにより、災害時の要配慮者等の避難生活を支援する。
- ②同様な取り組みを行う他自治体との受援応援活動により、福祉避難所の全国的な支え合い体制を強化する。
- ③自然災害の多発するわが国において、災害時にも「誰一人取り残さない」SDG s の目標に該当するため、本市町村の SDG s への取り組みの加速化に資する。



(2) 事業の概要

- ①市町村内すべての福祉避難所指定事業者を対象に、福祉避難所開設・運営マニュアル作成支援及び訓練を実施する。
- ②2つの福祉避難所開設に必要な資機材（福祉避難所開設キット、給電機、ラップポイントイレ）を購入する。
- ③災害時には、他自治体から上記資機材及び自治体職員、福祉関係者を受け入れて、福祉避難所や避難所で活用する。一方、他自治体が被災した時は、福祉避難所資機材1セット及び人材を派遣して支援活動を行う。

(④事業経費は、提案事業者とともに「ふるさと納税」により確保する。)

(⑤事業提案者と協定を締結し、平時にはマニュアル・訓練方法等の無償バージョンアップ、災

害時には福祉避難所への支援を受ける)

(3) 提案事業者

(一社) 福祉防災コミュニティ協会、(一社) 助けあいジャパン、(一社) 危機管理教育研究所

協力：本田技研工業株式会社、日本セイフティー株式会社

(4) 予算額

福祉避難所整備 (2 か所) 826 万円 (国庫補助後 754 万円)

(5) 事業スケジュール

- ・市町村長決裁終了後、〇月〇日に議会報告を行う。
- ・事業予算を令和 2 年度当初予算に計上する。(予定金額に達しない場合は、〇〇する)
- ・令和 2 年度 4 月～6 月、重要資機材を購入する。福祉避難所開設・運営マニュアル作成及び訓練委託を契約し実施する。

(ふるさとの納税を活用する場合)

- ・〇月〇〇日～〇〇月〇〇日、福祉避難所のふるさと納税サイトを開設して寄付を募る。
(12 月はふるさと納税金額が他の月より約 10 倍増えるため、12 月に実施することを推奨)
- ・返礼品は「いつか誰かのいのちを助ける」こと、及び福祉避難所垂れ幕に名前の印刷

【経費内訳】：⇒お問い合わせください。

【参考】兄弟プロジェクト「みんな元気になるトイレ」でのふるさと納税実績は次の通り



静岡県富士市 25 万人 1057 万円 (目標 1000 万円)、

愛知県刈谷市 15 万人 522 万円 (目標 500 万円)

静岡県西伊豆町 8 千人 524 万円 (目標 500 万円)

北海道沼田町 3 千人 870 万円 (目標 800 万円)